

【3－1】日常生活支え合い実践事業

買物困難者のための支援事業 (越前市)

基礎情報

実施地域	越前市坂口地区、東地区、南地区、西地区 広瀬地区、国高地区、北新庄地区
実施主体	NPO 法人 土といのちの会
所在地	越前市京町 1-4-33
代表者	理事長 笠原 章



平成23年度の事業概要

住宅街から食料品店が閉店し、高齢者や障害者の日常の買物に不便をきたしている地区で移動販売を行うための体制を整備

①移動販売車の購入

保冷・保温機能、スピーカーを備えた軽自動車を購入

②販売先、販売頻度の決定

坂口地区自治振興会と協議を重ねて決定。

高齢者施設から移動販売の依頼があり、それを契機に独自に高齢者施設に働きかけ数か所で実施。その他、口コミで個人宅への移動販売の実施。

③広報活動の実施

土といのちの会の機関紙やチラシを作成し PR。

現在の活動状況

平成24月1月から移動販売を本格稼働

訪問地区・・・坂口地区、東地区、西地区、南地区、神山地区、国高、北新庄地区

訪問頻度・・・各地区、週1回ずつ

販売物品・・・地場有機栽培野菜・加工品・花・無添加調味料・環境商品

*当初は老人会や自治振興会にチラシを配り事業の周知を図った。現在は移動販売の周辺にチラシ配布。

事業の実績、成果

毎週火曜日：西地区（越前いきいき健康館）東地区（サンライフ小野谷）国高地区（ニチイ）神山地区（ケアフルハウス、個人宅7件）

毎週木曜日：大虫地区（大虫公民館）東地区（福祉労働会館前・北府・藤の社）、西地区（野尻医院 個人宅8件）

毎週金曜日：坂口地区（中津原町、下中津原町、湯谷町、下別所町、勾当原町）、個人宅6件

* 当初の計画になかった高齢者施設からの依頼が相次いでいる。

* 情報が少ないが、口コミで広がりを見せている。

工夫した点

利用者の注文や要望を聞き、次回移動販売の折に対応するようにしている。

移動販売先の近所へ“風ものがたり・移動販売”のチラシを配布し、呼びかけをしている。



課題

少しずつ利用者が増えてきているが、まだまだ実績が少ない。

個人情報ということで、市ははじめ多くの地域から、必要としている地域（個人）の情報が得られない現状の中、個人のネットワークで対応している。

事業の財源

平成23年度地域支え合い体制づくり事業補助金で、移動販売車を購入。運営にかかる経費は、売上げ代金だけでは、ガソリン代や人件費をまかないきれないので、法人の財源の一部を事業に充てている。

今後の目標

新年度になったら、市役所から高齢者等の情報が出るので販路の拡大を検討する
顧客ニーズをもっと把握し、売り上げを伸ばす
口コミで伝えてもらえるよう商品の説明に力を入れる。
高齢者福祉施設等への移動販売を継続、拡大する。

団体からのメッセージ

地域の農・食・環境を生産者と消費者が一緒に考える会の発信の一つとして、店に来られない方にも安全安心な食を提供したいと考えている。

普段の買い物に不自由をしている方々の暮らしを応援したい。

